



第18回熟年メッセージ大会¹にて準グランプリを受賞された小笠原泰子さんをお訪ねしました。小笠原さんのメッセージのテーマである「笑顔」。ふとしたことから、笑顔は努力して作り出すものとの気づきから日常的に「笑顔」を意識するようになったとのこと。笑顔を何気なく意識する源泉は幼い頃のお母様の教育とともに、多感な二十歳代に経験した海外旅行の影響があるようです。とりわけ欧米の方々との数多くの触れ合いの場は、その豊かな表現力や素直な行動力に心動かされたようです。



2

ロンドン市民宅前 友人とともに



3

ローマ・カラカラ浴場



フランス・コンコルド⁴広場



5

アメリカ・UCLAキャンパス

今も現役として活躍されているフリーアナウンサーの仕事ですが、これまで数多くのイベントの司会を担当されました。時には有名な芸能人と一緒にすることもあり、記念写真も数多く残っています。結婚披露宴は1,500組ほどにもなり、丁度、ご次男の披露宴が1,000組目になったとのエピソードもお持ちです。そして、何と言ってもこの仕事に欠かせないのが「笑顔」なのです。



柳生博さんと⁸



6

アグネス・チャンさんと



7

浜美枝さんと



9

憧れの草野仁さんと

それでは小笠原さんが現在行っている笑顔に富んだボランティア活動の一部をご紹介します。
ご自宅の近くにある自治会館は「高齢者生きがいセンター」として町内の高齢者のデイサービスの場として利用されていますが、この日は「あじさいの会」の集いに10名ほどが参加し、小笠原さんは民謡や童謡など数曲の歌唱指導を行いました。小笠原さんの歌唱指導歴は長く、芹洋子さんの歌唱で有名な「四季の歌」をアコーディオンを携えながら清水エリアに広められたとのこと。



10

デイサービスにて歌唱指導を



11

清水区南部交流センターでは、子育て支援ボランティア活動を行っています。この日は「六月のママと
いっしょに」の集まりで、ママとお子さん達と童謡を楽しみました。



11



子育て支援ボランティアでも歌唱を

ツクイ静岡デイサービスセンターでは、フラダンスの慰問活動を行っています。フラダンスは太陽や月、海や島などの自然や人の表情などを身ぶり手ぶりで表す踊りですが、何と言っても笑顔が命といいます。フラダンスにつきもののレイや衣装を、見ている高齢者の方々にも着けてもらい共に楽しんでいただきます。中には前に出てきて一緒に踊ってくれる方もいて一層盛り上がります。このときの皆さんの表情は本当にリラックスして穏やかなお顔をしていました。小笠原さんのフラダンスを毎回楽しみにしておられる様子が窺えます。



14



15



16



17



18



19

人気のフラダンス

熟年メッセージ大会でご講演された小笠原泰子さんの「笑顔」は、今も継続してご高齢の方々や若きママさん達に届けられています。ご自身の人生に、より彩りを添えるためにも・・・そしていつの日にか草野仁さんの司会で紹介していただき、「笑顔」で講演できる日を夢見ています。

